

本WGにおいてご議論いただきたいポイント

入札発注を巡る昨今の状況

(1) 入札発注を巡る現状と課題

- 建設業は、他産業と比較して賃金が低い傾向にあり、就労時間も長いことなどから、中長期的な担い手の確保が困難。
- 労務費の確保と行き渡りを含む、建設業従事者の処遇改善や働き方改革等に関する制度的な措置が講じられ、持続可能な建設業の実現に向けた具体的な取組の加速化が求められている中で、依然として設計・積算と現場に不整合・乖離が生じる場面もあり、予定価格や利益率が見合わず不調不落の要因となることがある※。【入契制度】

※全国建設業協会「2026年度発注関係事務の運用状況等に関するアンケート」

- 資機材価格等が上昇局面にある中で、価格転嫁や工期設定、契約変更を巡り、受発注者間で緊張関係が生じる場面が増加。
【体制・入契制度】

(2) 発注者の現状と課題

- 厳しい財政事情や発注担当職員の不足等の課題を抱え、一部の地方公共団体においては入札・発注業務が逼迫し、不適切な予定価格や工期の設定、契約変更の一方的な拒否、手続きの遅れなどといった問題が生じている。【体制・入契制度・支払】
- 令和6年1月に発生した能登半島地震では、復旧需要の増大に伴う深刻な供給不足や、不調・不落の発生など、甚大な災害発生時における入札・契約制度の課題が改めて浮き彫りに。【体制・入契制度・支払】

(3) 受注者の現状と課題

- 近年、経営者の引退、高齢化、資機材・人材のコスト増等の影響により、中小・零細事業者を中心に倒産、廃業する企業が増加し、地域における災害対応力の維持が危ぶまれる状況。【入契制度】

● 現状と課題を踏まえた着眼点

- ① 発注者職員の不足に起因して、多くの課題を抱える発注者の「体制」の補完・支援
- ② 建設業の持続性が確保され、円滑かつ迅速な施工のための「入札・契約制度」の改善
- ③ 価格変動リスクの低減や災害時における迅速な復旧工事の発注に繋がりが得る
「オープンブック・コストプラスフィー方式(支払方式)」の活用

1. 入札・発注WGにおいてご議論いただきたいポイント

災害時の対応を見据え、地域の防災力を支える中核的な建設業として成長を促すことを念頭に、平時から取り組むべき入札・契約方策について、以下の観点から検討。

①発注者職員の不足に起因して、多くの課題を抱える発注者の「体制」の補完・支援

- ・ 厳しい財政事情や発注担当職員の不足等の課題を抱える地方公共団体の入札・発注事務の体制やそれを補完・支援する方策について
 - とりわけ課題が顕著な小規模市町村を念頭に、事務負担の軽減・効率化に加え、受発注者双方でその体制を確保する取組の強化に関する検討(発注事務の共同化・広域化、第三者機関による発注代行、発注者支援(CM方式)の活用)

②建設業の持続性が確保され、円滑かつ迅速な施工のための「入札・契約制度」の改善

- ・ 平時より受発注者双方で抱える課題を検証し、適正な予定価格の設定や契約変更等が行われるような環境構築により受発注者間の対等なパートナーシップを促進する方策について
- ・ 加えて、災害時に、地域建設業の連携のもと迅速な復旧・復興を可能とする仕組みや環境の構築について
 - 持続可能な地域建設業の実現のため、発注者の事務負担の効率化も図りつつ、適正な利潤の確保が可能となる入札・契約制度の更なる取組の強化に関する検討
 - 広域的な連携や包括発注を含め、施工体制の安定的な確保を図りつつ、地域防災力を向上する方策の検討

WGにおける主な論点(総論) 2/2

1. 入札・発注WGにおいてご議論いただきたいポイント

災害時の対応を見据え、地域の防災力を支える中核的な建設業として成長を促すことを念頭に、平時から取り組むべき入札・契約方策について、以下の観点から検討。

③価格変動リスクの低減や災害時における迅速な復旧工事の発注に繋がり得る

「オープンブック・コストプラスフィー方式(支払方式)」の活用

- 資機材価格等の上昇局面や、迅速な工事施工が求められる大規模災害等において、コスト等の透明性を担保することで受発注者の情報の非対称性を是正しつつ、円滑に工事を進めるための契約手法の一つとして期待される同方式に関して、課題整理の上、導入条件等を検証

→ 中建審・基本問題小委員会における議論を踏まえ、次の点に留意し検証を行う

※国内先行事例や海外事例との比較、受発注者間の協議等のあり方、受発注者間の責任分担のあり方等